

島根県感染症情報(週報) 2019年 第51週 (12/16~12/22)

県内感染症情報(概況)

1)全数報告感染症(1~5類感染症) []は無症状病原体保有者を再掲

結核が3件[1](松江圏域1件、浜田圏域2件[1])、侵襲性肺炎球菌感染症が3件(松江圏域2件、大田圏域1件)、百日咳が1件(出雲圏域)報告されています。

島根県保健環境科学研究所

島根県感染症情報センター

Tel:0852-36-8184

Fax:0852-36-8356

(スマホからも流行状況が確認できます。)



2)定点報告5類感染症 ()内数字は、週の定点当り患者報告数

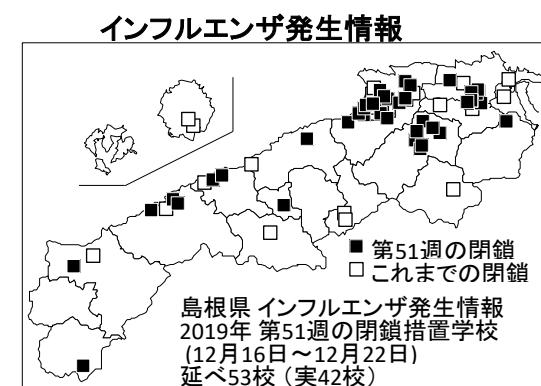
- インフルエンザ : ★島根県薬事衛生課からインフルエンザ流行注意報が発表されています。★県内全域(22.2)の患者報告数は増加しており、雲南圏域(34.7)で警報レベル(30)を超える流行となっているほか、出雲圏域(25.0)、益田圏域(23.6)および松江圏域(23.5)など全域で流行が続いている。迅速検査では県内全域でA型が検出されており、松江圏域ではB型も検出されています。
- 感染性胃腸炎 : ★島根県薬事衛生課から冬期の食中毒注意報が発表されています。★県内全域(10.1)の患者報告数は横ばいです。すべての圏域で患者発生報告があり、出雲圏域(17.2)および松江圏域(15.6)では定点当り10.0人以上の流行となっています。
- 伝染性紅斑 : 県内全域(0.9)の患者報告数は増加しています。出雲圏域(2.0)で警報レベル(2)の流行となっているほか、松江圏域(1.6)で患者発生報告があります。
- A群溶連菌咽頭炎 : 県内全域(1.6)の患者報告数はやや減少しています。松江圏域(2.6)および雲南圏域(2.0)では定点当り2.0人以上でやや流行しています。
- 咽頭結膜熱 : 県内全域(0.2)の患者報告数は減少しています。浜田圏域(0.7)および松江圏域(0.3)で患者発生報告があります。
- 水痘(水ぼうそう) : 県内全域(0.5)の患者報告数は横ばいです。出雲圏域(1.0)および浜田圏域(1.0)では注意報レベル(1)の流行となっているほか、松江圏域(0.4)および益田圏域(0.3)で患者発生報告があります。
- 流行性角結膜炎 : 浜田圏域(1.0)の眼科定点で患者発生報告があります。
- 細菌性髄膜炎 : 出雲圏域(0.5)の基幹定点で患者発生報告があります。
- マイコプラズマ肺炎 : 松江圏域(1.0)および出雲圏域(0.5)の基幹定点で患者発生報告があります。

3)主な病原体の検出状況等

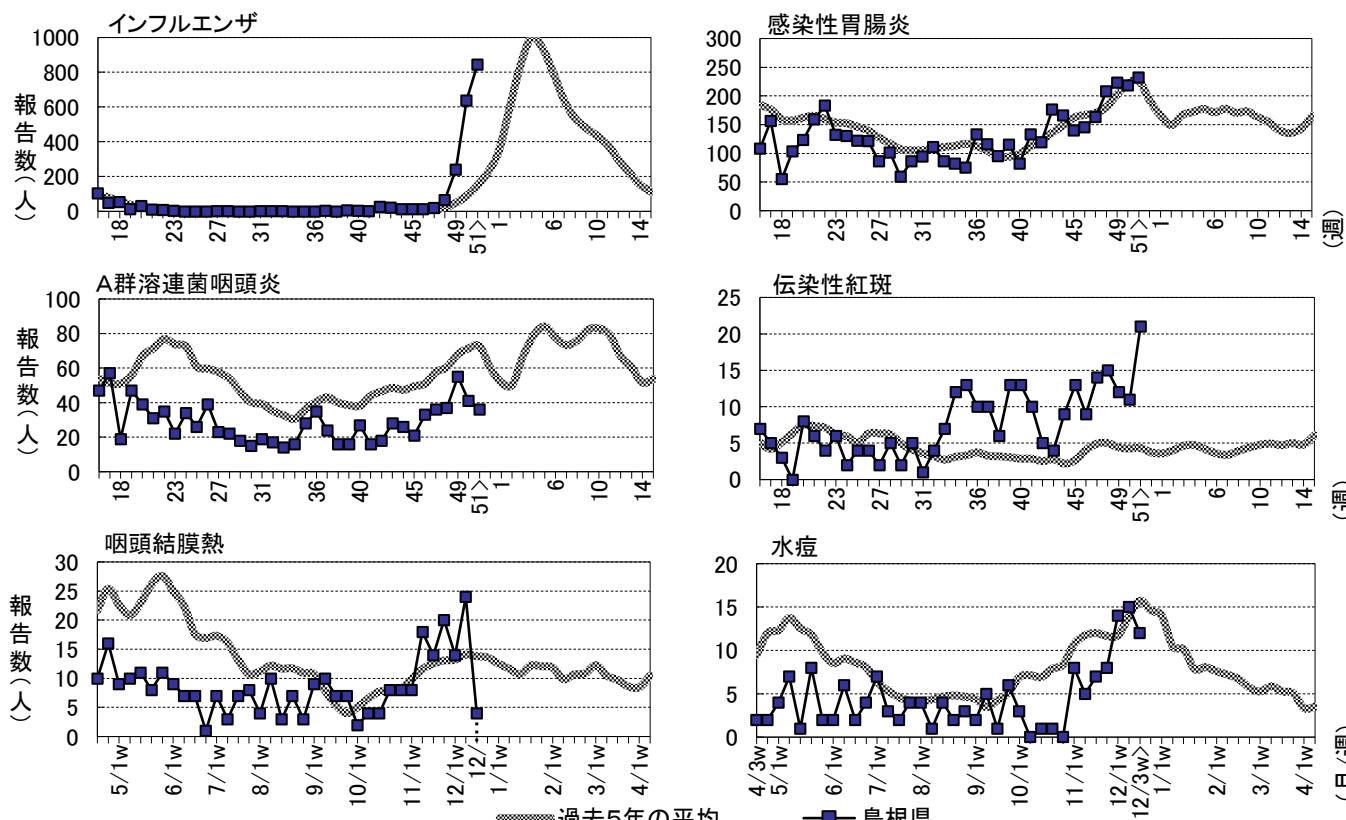
- インフルエンザ : AH1(2009pdm)型が検出されています。
- 感染性胃腸炎 : ノロウイルスGIIおよびアデノウイルス2型が検出されています。
- 扁桃炎・咽頭炎 : パラインフルエンザウイルス2型、アデノウイルス2型およびヒトメタニューモウイルスが検出されています。
- 肺・気管支炎 : パラインフルエンザウイルス2型およびヒトメタニューモウイルスが検出されています。
- 無菌性髄膜炎 : エコーウィルス30型が検出されています。

主な感染症の流行状況

疾患名	全県	東部	中部	西部	隠岐
インフルエンザ	▲ ◎	▲ ◎	▲ ◎	▲ ◎	→ ○
感染性胃腸炎	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○
A群溶連菌咽頭炎	→ ○	→ ○	→ ○	→ ○	▪ ×
伝染性紅斑	▲ ◎	▲ ◎	▲ ◎	→ ×	→ ×
咽頭結膜熱	▼ ○	→ △	→ ×	▼ △	▪ ×
水痘	→ ○	→ △	→ ○	→ ○	▪ ×



今週: ◎流行、○やや流行、△散発、×報告なし 過去4週推移: ↑急増、↗増加、↘減少傾向、↓急減、→横這い



*詳しいグラフ等は、ホームページ <https://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/kansen/> をご覧ください。

島根県感染症発生動向調査情報（定点把握疾患：週報）

島根県保健環境科学研究所

島根県感染症情報センター

2019年 第51週 令和1年12月16日～令和1年12月22日

過去4週の推移:↑急増、↗増加傾向、↘減少傾向、↓急減、一横這い、・報告なし 今週の流行状況:◎流行、○やや流行、△散発、×報告なし